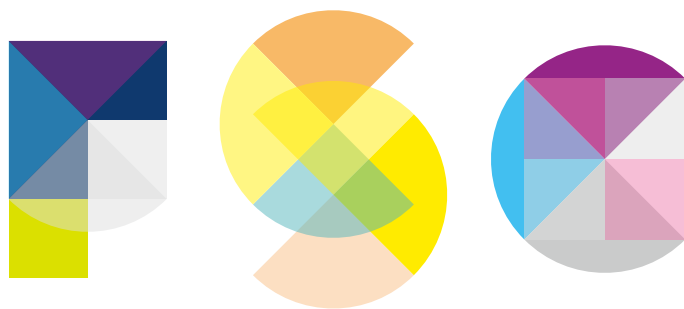


科学を通じて「ふくしまの今」を発信しよう!



Web会議システムを活用した  
遠隔によるコミュニケーションも  
予定しています。  
この機会に是非、ご参加ください!

受講  
無料

# ふくしま サイエンス コミュニケーター 養成講座

サイエンスコミュニケーターとは  
.....  
人・自然・科学が共存する持続可能な  
社会を育むために、誰もが科学につ  
いて主体的に考えて行動できるきかけ  
を提供し、人と人あるいは科学と社会  
をつなげることができる人材です。



原子力災害を経験した福島の現状等について学び、多くの人々との対話を通じて、  
「ふくしまの今」を科学的な視点で伝えてみよう!

- 開催期間 2020年 8月 → 2021年 3月 (全12回)  
AUGUST MARCH  
※講座開催日は裏面参照
- 会場 福島県環境創造センター交流棟  
「コミュタン福島」ほか
- 受講料 無料
- 参加資格 高校生、大学生、一般の方 ※福島県内在住者に限り  
ます
- 定員 20名
- 申込方法 FAX、郵送、E-mail、特設サイト(専用申込フォーム)にてお申込みください。
- 申込締切 2020年7月26日(日)必着  
※応募者多数の場合は抽選となります。

◎講座開催の1週間前までに受講決定通知を発送いたします。  
◎講座では感染症対策を行った上で受講していただきます。



福島県環境創造センター交流棟

コミュタン福島

〒963-7700 福島県田村郡三春町深作10番2号(田村西部工業団地内)

TEL.0247-61-5721 FAX.0247-61-5727

<https://com-fukushima.jp/>

コミュタン福島



講座当日は郡山駅～コミュタン福島間  
を送迎します。

学んで深めよう!



原子力災害を経験した福島の実状を理解するとともに、放射線や再生可能エネルギー等について一緒に学ぼう!

考えよう!



より深く考える力、情報に基づき判断する力、人々に伝える力(思考力、判断力、表現力)を身につけよう!

発信しよう!



専門家や県内外の人々との対話を通じて、「ふくしまの今」を科学的な視点から分かりやすく伝えよう!

## 講座日程・プログラム

■ 時 間 各日10:00~16:00

第7回は9:00~17:00を予定しています。  
第10回は別途お知らせいたします。

開催日	プログラム	概要
第1回 8/9(日)	・開講式、オリエンテーション - [もの作り体験]自分だけの身分証明書を作ろう-	・紙すき体験でオリジナル身分証を作成します。
	・福島の現状と復興について学ぼう - 自分が伝えたいことを知る-	・コミュニティ福島の展示物等を活用し、福島の現状等を学び、自分の伝えたいことを確認します。
第2回 8/30(日)	・原子力災害とサイエンスコミュニケーションについて学ぼう - サイエンスコミュニケーションの基礎と役割を学ぶ-	・物事を伝えることの楽しさ・難しさを知り、福島で求められるサイエンスコミュニケーションについて学びます。
第3回 9/13(日)	・放射線について学ぼう - 放射線の基礎を実験で確かめる-	・コミュニティ福島の展示物等を活用し、放射線の基礎を学び、さらに放射線の性質等について詳しく学びます。
第4回 9/26(土)	・サイエンスコミュニケーションを体験しよう - 小中学生と放射線実験-	・放射線に関する実験を通して小中学生と交流し、サイエンスコミュニケーションの理解を深めます。
第5回 10/11(日)	・SDGs講話「SDGsと身近な暮らしのつながりを考えてみよう!」 ・分かりやすく伝えるための技術を学ぼう - 効果的な表現方法を学ぶ-	・SDGsとは何か? 地球環境等の問題や福島の取組、身近な暮らしとつながりについて学びます。 ・効果的な資料の作り方、サイエンスライティングなどをグループワークを交えながら学びます。
第6回 11/1(日)	・イノベ講話「福島イノベーション・コースト構想について学ぼう!」 ・サイエンスコミュニケーション活動の企画をしよう① - 活動のテーマを決める-	・福島イノベーションコースト構想とその現状について学び、自分たちの未来を考えます。 ・学習した内容や伝えたいことを整理して、これから実施するサイエンスコミュニケーション活動のテーマを決定します。
第7回 11月に実施予定	・現地で体験し学ぼう - 福島第一原子力発電所の見学(予定)-	・現地を訪問し、1F事故と福島の状況、廃炉の取組や風評被害と対策等について理解を深めます。
第8回 12/13(日)	・サイエンスコミュニケーション活動の企画をしよう② - 活動のためのツールを作成する-	・学習した放射線の基礎、福島の状況や取組に関する知識、サイエンスコミュニケーションに関する技術を活用して、実際の活動を企画します。活動のためのツールとして説明用パネル等を作成し、実践に備えたりハーサルを行います。
第9回 1/10(日)	・サイエンスコミュニケーション活動の企画をしよう③ - 活動ツール作成とリハーサル-	
第10回 2/6(土)~7(日)	・サイエンスコミュニケーションを実践しよう - 東京都内で活動を実践する-	・企画したサイエンスコミュニケーション活動を実践します。東京都内の科学館等の見学も予定しています。
第11回 2/28(日)	・活動の記録を整理しよう - 活動記録の整理と成果発表準備-	・活動記録を整理し、特設サイトなどに掲載するとともに成果発表会の準備をします。
第12回 3/7(日)	・成果を発信しよう - 活動成果を報告・発信-	・コミュニティ福島で活動の成果を公開形式で報告し、発信します。

★全12回のうち10回以上の出席をお願いします。  
また、第12回は必ず出席いただきます。

※プログラム内容・開催日は、やむを得ない理由により変更となる場合があります。

第7回 会場(予定)

福島第一原子力発電所  
〒979-1301  
福島県双葉郡大熊町  
大字夫沢



第10回 会場

日本科学未来館  
〒135-0064  
東京都江東区  
青海2丁目3-6



## 参加申込書 [FAX・郵送・E-mail]

申込先

福島県環境創造センター 交流棟「コミュニティ福島」  
〒963-7700 福島県田村郡三春町深作10番2号

FAX 0247-61-5727

E-mail ccp@fukushima-science.com

※E-mailでお申し込みの場合は下表の項目を本文に記載してください。

申込締切

7/26日  
必着

ふりがな	氏名	性別	男 女	生年月日	(西暦) 年 月 日
所属・学校				学年 (学生のみ)	
住所	〒 -				
TEL			E-mail		
応募動機	本講座に応募した動機をご記入ください				

※FAX・郵送・E-mailでお申し込みの方には、数問のアンケートにご協力いただくため、後ほど事務局よりご連絡申し上げます。

[このままFAXでお送りいただけます。]